

2019年度 第2回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会 開催報告 「介護予防・生活支援のためのロボット・ICT 活用と中国地域の研究シーズ・ニーズ」

主催：公益財団法人中国地域創造研究センター 後援：一般社団法人中国経済連合会

【概要】

公益財団法人中国地域創造研究センターは、2019年9月24日(火)、広島市の広島県民文化センター「サテライトキャンパスひろしま」において「2019年度 第2回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会」を開催しました。本交流会は、中国地域企業のヘルスケア・医療福祉機器分野への新規参入や新製品・事業化につながる出会いの場となることを期待して、この分野の最新情報や大学等における研究シーズ・ニーズを紹介するものです。「介護・福祉機器」をテーマとする今回は、「介護予防・生活支援のためのロボット・ICT 活用と中国地域の研究シーズ・ニーズ」と題して開催しました。

基調講演では、国立長寿医療研究センターの近藤 和泉 先生に健康長寿を支援するロボット開発の現状と今後の課題についてご紹介いただき、講演では、富士ソフト(株)の二宮 恒樹 氏からコミュニケーションロボット PALRO®の活用事例についてご紹介いただきました。参加者からは、「健康寿命を延ばすためのロボット開発について理解でき勉強になった」、「コミュニケーションロボットの意義がよく分かった」といった声をいただきました。

研究シーズ・ニーズ発表では、近畿大学の黄 健 教授から、高齢者の自立歩行意欲の促進を図る歩行車の開発について、続いて広島市立大学の岩城 敏 教授から、介護・生活支援ロボットの物体把持教示のための実世界“クリック”手法について、最後に広島市立大学の李 仕剛 教授から、全天周カメラによる注視ターゲット推定法の開発と車いすロボットへの応用について紹介していただきました。

発表に関心を示された企業に対して、今後、マッチングに向けた事業化検討を進めて参ります。

【講演風景】



【日時・場所】

日時：2019年9月24日(火) 13:30~17:10

会場：広島県民文化センター「サテライトキャンパスひろしま」(広島市中区大手町 1-5-3)

【参加者】 83名

【プログラム】

- | | | |
|----------------------|---|---------|
| (1) 基調講演 | 「健康長寿を支援するロボット開発の現状と今後の課題」
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 副院長、
健康長寿支援ロボットセンター長、リハビリテーション科 部長
厚生労働省 老健局 参与(介護ロボット担当) | 近藤 和泉 氏 |
| (2) 講演 | 「高齢者の豊かな生活を支援するコミュニケーションロボット PALRO®」
富士ソフト株式会社 プロダクト事業本部 マーケティング企画部
リーダー | 二宮 恒樹 氏 |
| (3) 研究シーズ・
ニーズ発表1 | 「回転式支持パッドにより高齢者の自立歩行意欲の促進を図る歩行車の開発」
近畿大学 工学部 ロボティクス学科 教授 | 黄 健 氏 |
| (4) 研究シーズ・
ニーズ発表2 | 「介護・生活支援ロボットの物体把持教示のための実世界“クリック”手法」
広島市立大学大学院 情報科学研究科 システム工学専攻 教授 | 岩城 敏 氏 |
| (5) 研究シーズ・
ニーズ発表3 | 「全天周カメラによる注視ターゲット推定法の開発と車いすロボットへの応用」
広島市立大学大学院 情報科学研究科 システム工学専攻 教授 | 李 仕剛 氏 |



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<https://www.jka-cycle.jp/>